

中学校へのエアコン03年夏前には設置

PTAなどの運動と 共産党の提案が実る

「小学校も来年夏からの利用に向け早期の整備に努める」…教育長答弁 (02.11.28本会議)



第四回定例区議会に、中学校の普通教室にエアコンを設置する補正予算が計上され、全会一致で議決された。

ました。春休みや五月の連休などに工事を行い、今年の夏には涼しい環境で勉強ができることとなります。小学校については二〇〇三年度当初予算に計上する予定で、「来年夏からの利用に向けて早期の整備に努める」(本会議で教育長)と答弁しました。

この間、区議団は本会議や予算・決算委員会、区民文教委員会で実現を迫り、第三回定例区議会の代表質問では「来年の夏に間に合わせるためには、補正予算を組むことが必要」と提案しました。また、四中学校PTA会長連名の請願や教職員組合の請願が全会一致で採択されたり、小学校PTA連合会から区長に陳情書が提出されるなど、運動が大きく広がるなか実現したものです。



日本共産党区議団は、機会あることに財源確保についての提案を行ってきました。第四回定例区議会の代表質問でも四つの提案を行いました。

財源確保について提案

①東電やN.T.Tなどの道路占有料などの占

②東電やN.T.Tなどの道路占有料などの占

③施設建設や運営費に

環境を破壊する「1000坪、150坪もの巨大ビルはいらない

薬研坂(赤坂四丁目)再開発事業の抜本的な見直しを求める請願

第四回定例区議会に「赤坂四丁目再開発事業の抜本的な見直しを求める請願書」(代表・川原和子さん、署名七二名)が提出され、建設委員会が審議されました。共産党区議団は採択を主張しましたが、自民、公明、区民クラブなど多数で継続にしました。

「薬研坂北地区再開発(積水ハウス)は



子ども中高生フラザ(赤坂児童館) 四月一日オープン

水川小学校に跡に建設がすすんでいる(仮称)赤坂六丁目特養ホームに併設される児童館は、乳幼児から高校生まで利用できる港区ではじめての施設となります。この施設の名称は「子ども中高生フラザ」といい、四月

休館日は十二月二十九日と一月四日と祝日のみで日曜日も開館します。利用時間は九時三〇分から午後八時までです。施設は、防音装置付の音楽練習室、パソコン室、工作室、体育館などがあり、様々な事業を予定しています。

地上一九階、地下二階、一〇〇メートルの事務所ビル(一部店舗)、南地区再開発(都市基盤整備公団が中心)は地上四三階、地下二階、一五〇メートルの住宅棟です。(一部事務所・店舗)一〇〇メートルを超す二棟の高層ビルが建てば、風害、景観、圧迫感、自動車の増加等々による周辺環境への影響は計り知れない。とし、「周辺環境に見合った計画となるよう、抜本的な見直しを行うよう、行政の強力な指導を」求めています。

固定資産税の二〇％減免、二〇〇三年度も実施 (小規模非常宅用地四〇〇㎡以下)

一月三日、都知事は本会議で「小規模非住宅用地を対象に実施している減免」「新築住宅と小規模住宅用地の軽減措置」を来年度も継続することを明らかにしました。区民のみなさんの粘り強い運動の成果です。

これまでも風見区議は「高い固定資産税から営業と住まいを守る会」のみなさんと、区民の「固定資産税が高すぎて払えない」という声を示し、不服申立てや都議会への請願署名、都税事務所・都主税局との交渉に取り組んできました。また区民大会の開催も提案、十一月には港区・中央区、住民代表、両区議会が共同で国や東京都などに陳情を行いました。

「守る会」は二〇〇三年度以降も減免を継続させるため、都議会への請願署名



に取り組み、わずか一ヶ月で一六〇〇名もの署名が寄せられ、日本共産党都議会議員などが紹介議員になり、都議会へ提出しました。自民・公明・民主は紹介議員になりませんでした。こうした中、都知事は所信表明で「減免の継続」を表明したものです。

区議団は、みなさんと協力し、「営業が継続でき」「住みつづけられ」「払える」固定資産税になるよう引き続きがんばります。

現在、ペットボトルの回収は自治体の責任になっていくため、ペットボトルの回収費用は年間四千万円にもなっています。風見区議は決算委員会で「ペットボトルを大量に製造・販売している企業に回収費用を負担させるべき」と質問、担当課長は「拡大生産者責任の観点から、事業者による自主回収システムの促進、

ペットボトルの回収は製造者責任で

四千万円もの区民の税金で回収



コンビニの回収ボックスはペットボトルでいっぱい

廃棄時のリサイクルを考慮した製品づくりが必要、引き続き様々な機会を通じ強く要望する」と答えました。「容器包装リサイクル法」がはじまった年から逆にペットボトルのゴミが増えはじめています。それまで業界

は、リサイクルができずかさばって扱いにくいと地方自治体から批判され、五〇〇ミリリットル以下のペットボトルの製造を自主規制していましたが、法律が制定されリサイクルするからいいだろうと、自主規制を

自民・公明、かがやき・一票の会 多数で小諸高原学園の廃止を議決

委員会でも四対四、引続きの論議が当然



小諸高原学園を廃止する条例が第三回定例会に提案されましたが、「廃止の理由が明確でない」、「耐震性、安全性等の調査期間が必要」、「移動教室、夏期

や、新たに自然体験教室の考え方などが示されるなど、論議が不十分な中、教育委員会の廃止先にありきの姿がいつそう明らかになりました。それを容認した自民・公明などの態度は区民の批判を浴びることになります。本会議では、共産党と区民クラブが廃止反対の討論を行い、採決では、共産党と区民クラブ(の内民主党3人の内2名・社民党)が反対しました。

教育委員会で廃止を決定するにあたり、PTAや利用している青少年団体など意見はまったく聞いていないというひどいものです。

芝増上寺にあった石灯籠の寄進先の一部が判明

文化財関係者などに情報の提供よびかけを



区議団の度々の質問で、教育委員会が行った調査により、増上寺の旧徳川將軍霊廟前にあった石灯ろうの寄進先の一部が判明しました。これまで西武鉄道は調

査の要請にも文化財が「どこにいったか不明」とまったく誠意のない回答でした。区教委は独自に寄進先と依頼を行い、一七自治体から回答が寄せられ、四一九基の存在が確認されました。増上寺の文化財は世界遺産に指定された日光の文化財に匹敵する貴重なもので、それを破壊してきた西武の責任は重大です。

共産党区議団は、本会議で「石灯ろう、石灯ろうを含め全容を明らかにするため、区民や文化財関係者などのネットワークを活用するなど、情報の提供を呼びかけるよう」提案しました。教育長は「文化財関係者等のネットワークを活用する方法を検討する」と答えました。

引き続き、現地調査などを行い全容の解明が求められています。どんな情報でも結構です。共産党区議団にお寄せください。